

「新・やまがた農業人」紹介



宮部 壮司(たけし)さん 白鷹町で就農

【出身地】福岡県

【就農先】会社員

【就農年度】平成 27 年度

(平成 25 年度独立就農者育成研修で
2年間研修)

【経営概要】ミニトマト 20a、丸ナス 20a

キャベツ 30a

農業の可能性に挑戦

横浜の学生時代に友人から誘われ参加した福島での農業体験が農業を職業にしようと決意するきっかけとなりました。九州で生まれ農業とは縁のない環境で育ちました。体験先の農家が直売など多彩な販売方法を行っているのを見て、自分の創意工夫で生産から販売までを行っていきける事に大きな魅力と可能性を感じ、自分の目指すべき職業はこれだと直感しました。就農に向け首都圏の青果物関係の会社に就職し6年間流通の実情等を学び、平成 25 年から研修生となり、生産現場で栽培技術等を学びました。平成 27 年春に白鷹町中山地区で就農し住居も構えました。ミニトマト、丸ナス等を栽培していますが、常に傍に指導者がいた研修時と異なり、自分で判断が必要なことも多く、これで良いのか日々悩みながら仕事をしています。

山間の集落で地域の活動や行事もたくさんありますが積極的に参加するよう心がけています。だいぶ慣れてきたとはいえ、突発的に発生する消防団活動や冬の豪雪など、想定をはるかに超える事態への対応も必要になります。とはいえ、自然が豊かで人間性溢れるこの地での生活は新鮮で楽しいものです。この生活をより豊かにしていくためにも、作物の栽培管理を的確にこなす生産を安定させること、将来を見通しながら販売力を高めていくことなど、やるべきことはたくさんありますが、周囲の方々に教わりながら、自分の目指す農業の可能性に挑戦していきたいと考えています。